

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-------|-----------------------|---------|--------------|-----------|-------|
| 団体名 | 裾野市 | 代表者名 | 村田悠 | | |
| 担当者部署 | デジタル部 業務改革課 | 連絡先電話番号 | 055-995-1871 | | |
| 担当者役職 | 係長 | 担当者氏名 | 中原義人 | 連絡先E-mail | ***** |
| 住所 | 410-1192 静岡県裾野市佐野1059 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|--|
| アドバイザー | 村越 功司 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に） | 業務改革を推進するにあたり、職員のモチベーションを意識した研修ストーリーとなっており、村越氏の豊富な経験に基づいた説得力のある講義をいただけた。ICTの活用という視点のみでは、拒否反応を示す職員が出てくる分野ではあるが、人間中心の講義設計になっていた。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 特にありません。 |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|-------------|---------------|-------------|--------------|---------|----------|
| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 期日・支援内容の変更あり | | |
| | 令和5年8月29日 | 講演(実地) | 無 | | |
| | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | | | 13時00分 | 15時00分 | |
| | | | | 活動時間（分） | 120 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | 裾野市役所 | 最寄駅 | JR裾野駅 | |
| | 所在地 | 裾野市佐野1059 | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩 | |

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

| | | |
|------|---|---|
| 掲載許可 | <input checked="" type="checkbox"/> 掲載可 | https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/ |
|------|---|---|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|--|-----|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 人数 |
| | 職員（部長3人、課長30人、一般職員33人） | 66人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） | DXの推進にあたり、システムの導入ではなくBPRの視点をファーストステップと掲げて取り組みを進めているが、「何から始めたらいいかわからない」や「何が課題かわからない」という、職員の全体的な改善意識の低さや突破力の未熟さが、DXの推進力が大きくならない原因となっている。 | |
| 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） | サービスレベルの向上だけでなく「職員が楽になる」意識での取り組み視点を持つことの大事さを知ること、改善や改革することが「めんどろな事」から自分事になる意識変容を目指した。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい） | 浜松市のかかかない窓口の全市的な取り組みや、その取り組みに向けた組織体制や、意識醸成、あるべき姿（グランドデザイン）からのロードマップの描き方など、BPRに必要な要素について具体的な結果や成果を交えて講義いただき、職員の意識変容に向けた支援をいただいた。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 | 研修にSlidoを導入するなど、これまで経験したことのない研修スタイルから入り、公務員の型にとらわれず、解決策を模索する体験を研修に取り込むことで、チャレンジして、また失敗して改善して | |

| | | |
|---|--|----------------------|
| (具体的にご記入下さい) | 1対1、解決策を模索する体験を研修に取り込むことで、アレンジして、また入城して口説いていく姿が職員の勇気につながったことが、受講後の職員ヒアリングから聞き取ることができた。今後継続した取り組みになっていくことを期待している。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑤組織業務改善ができた |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 全員の職員に100%伝えることはできないため、技術的に落とし込むために何かしらのハンズオンなどを加えたりする必要性を感じた。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ICTの活用スキルとして、現在値の自己評価と目指したいスキルレベルをそれぞれ聞いたところ、本研修後において、今よりも高いレベルを目指す職員が9割を超えていた。このことから、意識変容の必要性を職員が持っていることが読みとれる。 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ①予算は確保済みであり、年度内に推進する |
| 事業の最終的な目指す姿 | 職員一人一人が、行政サービスのレベル向上と職員負担の軽減の両側面から、あらゆる業務フローに対して改善や改革に取り組む視点を持つ状態を目指す。 | |

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



